兵庫県立がんセンター　消化器内科

「　短期間でも最先端のがん診療に触れてみませんか？　」

研修内容

病院の特色など

兵庫県立がんセンターは明石市にある病床360床のがん特化した専門病院で、「都道府県がん診療連携拠点病院」として多くのがん患者さんの診療を行っています。またがんゲノム医療拠点病院として遺伝子パネル検査・エキスパートパネルを積極的に取り入れ、がん腫を越えた個別化治療も推進しています。

診療科の特色など

消化器内科は当センターにおける消化器がんに対する内科診療を担っています。内視鏡領域、肝胆膵領域、薬物療法領域に臨床診療を統合し、各領域リーダーを中心に各疾患についての診療をチームで行っています。基本的にスタッフは各領域に軸足をおきながらも全ての領域の診療に関わることで、専門性の向上と消化器がんジェネラリストの両立を目指しています。各領域カンファレンスと、各疾患キャンサーボード（消化器外科、放射線診断科、照射線治療科など）を毎週行うことで、コンセンサスを形成しながら最良の診療方針を決定しています。

実績（令和6(2023)年度）、その他

外来患者 21,103名、入院患者 12.564名

内視鏡検査；

上部3838件, 下部1,791件, 小腸7件,

ERCP223件, EUS 461件 (EUS-FNA122件)

内視鏡治療；

ESD216件, EMR252件, EVL1件、止血術36件, 食道拡張術123件,

ERBD216件, EST33件, PEG31件, PDT10件, ステント3件

超音波ガイド下治療；14件（PEIT8件、ラジオ波6件）

経カテーテル治療件数 (院内総数); 44件

薬物療法；

外来実施数; 3718件(静注レジメンのみ)

新規患者数；

食道癌39名, 胃癌38 名, 大腸癌75 名, 膵臓癌56名, 胆道癌16例、

小腸癌0名, 肝細胞癌16名, 神経内分泌腫瘍8名

ペプチド受容体放射性核種療法(ルタテラ治療); 6名

学会認定：

日本内科学会認定教育関連病院、日本消化器病学会認定施設、

日本消化器内視鏡学会指導施設、日本肝臓学会認定施設、

日本膵臓学会認定指導医制度 指導施設、

日本胆道学会認定指導医制度 指導施設

専攻医の声

消化器がんの内視鏡処置、エコー下処置、化学療法など、幅広く様々な経験ができます。慣れないことも多いですが、それぞれの専門の先生方が優しく丁寧に指導してくださり、楽しく充実した研修生活を送っています。興味のある方は是非一度見学にいらしてください！

浅野　萌先生（4年目：専攻医）

神戸医療センター所属　当院で6ヶ月間の研修中

メッセージ

先輩からの一言

内視鏡治療や化学療法など、各分野の指導医のもとで学ぶことができます。日々勉強しながら、数多くの症例を経験しています。また学会発表の機会も豊富にあり、ステップアップを目指すのにぴったりな環境だと思います。興味のある方はぜひ見学にお越しください。

田中　彩香先生（8年目）

消化管、胆膵、肝それぞれの癌治療に携わり、内視鏡・エコー検査、処置、化学療法、学会発表などの全部が経験できます。私は当院在籍２年目となりますが、1年目で多くの症例を経験し、消化器内科医として成長できました。消化器内科、どの分野でも大きく成長できる環境です。興味がある方はぜひご連絡ください。

和田　友紀先生（７年目）

上級医からのエール

年間おおよそ食道ESD 70件、胃ESD 90件、大腸 ESD 50件、咽頭ESD 90件、食道PDT 10件を行っています。楽しく内視鏡手技を学ぶことができますので、いっしょに内視鏡治療をしませんか？

山本佳宣：内視鏡リーダー

肝癌・胆道癌・膵癌・神経内分泌腫瘍は非常に豊富な症例があり、化学療法、内視鏡処置（EUS-FNA、Interventional EUS, ERCP）、エコー下処置（肝生検、PTBD、RFA）など、診断・治療・合併症対応・緩和治療に至るまで、トータルマネージメントを行っています。若手の先生には上級医とマンツーマンで習得できる体制を整えています。

三木生也：肝胆膵リーダー

様々な消化器がんに対する薬物療法が経験できます。苦手意識のある先生も多いと思いますが、上級医に教えてもらいながら、診断～治療～緩和ケアまでの流れが身に付きます。また多くの臨床試験や治験（第Ⅰ相～第Ⅲ相）を行っており、新薬に触れる機会も多く化学療法の専門的な知識を得て更なるステップアップも望める環境です。

武川直樹：薬物療法リーダー